

世界がコロナ禍に揺れる中で迎えた今日の成人式。皆さんはどんな気持ちで迎えているでしょうか？ なぜ僕たちの時に・・・どうして私たちの時に・・・そんなネガティブに考えるのはやめませんか。

こんな時でも、いや、こんな時だからこそ、皆さんの一生に一度の晴れの日を何としてでも祝福してあげたいと、いつにも増して多くの人がいろいろ考えました。

そして、公民館には「来年の成人式はどんな予定ですか、やるんですよね・・・晴れ着を着させてあげたいんです」・・・御両親からの問い合わせがひっきりなしにかかってきました。最終的には運営委員が参加してのユウチューブ配信の成人式となりましたが、本当に多くの人が皆さんの未来に幸多かれと祈っています。

さて、ことしの安茂里の成人対象者は328人にのぼります。すでに社会で頑張っている人、学生として勉学に励んでいる人と様々だと思いますが、共通して言えることは、皆さんの未来には大きな夢と無限の可能性が広がっているということです。

今回のコロナ禍の中で、日本が抱える普段は見えない色々な問題を皆さんも感じたと思えます・・・豊かに見える現代社会、しかしその裏に潜む様々な問題が提起されたのも今回のコロナです。普通に暮らせることがいかに大切で、そして大変であるか・・・いつでも自由に、行きたいところへ行きたい時に行くことができる有難さ・・・普段何気なく行なっていることが本当は当たり前なことではないと皆さんも身をもって感じた筈です。

そう遠くない将来、人類は必ずコロナに打ち勝ちます。その時こそ、皆さんには今回の経験、感じたことを、将来に生かして頂ければと思います。

世界では皆さんもご存じのようにスウェーデンの環境活動家グレタ・トゥーンベリさん、ノーベル平和賞を最年少で受賞したパキスタンの人権活動家マララ・ユスフザイさん、香港の民主化を訴える周庭さんなど若い人たちの声が世界を動かしています。

自分はどういう道を進むのか、コロナの中で芽生えた新しい夢、コロナによって変化した自分の夢、コロナに遭遇しても変わらない自分の目指す道、そして自分の歩むべき道がまだ見つかっていないという人もいるでしょう。

クラーク博士が言った「ボーイズビーアンビシャス」

今日、成人式という一つの大きな人生の区切りの時を迎え、皆さんには夢の大小に関わらず・・・とにかくそれぞれに夢を持って欲しい。苦しくてもその夢に向かって歩んで欲しい。そして、ゆっくりでいいから一歩ずつ夢に向かって進む自分を想像し、いつかは現実のものにしてほしいと願っています。

最後に、コロナが原因で今回このような形の成人式になりましたが苦渋の決断であったことにご理解をいただくようお願いするとともに、新成人の皆さんのご健勝と幸多き未来であるよう祈念してお祝いの言葉といたします。

令和3年1月9日

長野市立安茂里公民館長

新見 宏司